

# 第91期中間事業報告書

平成15年4月1日から平成15年9月30日まで



**エスビー食品株式会社**

株主の皆様にはますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

平素は格別のご支援ご愛顧を賜わり、誠にありがとうございます。たく厚く御礼申し上げます。

ここに当社第91期中間期（平成15年4月1日～平成15年9月30日）の営業の概況と決算のご報告を申し上げます。

当中間期のわが国経済は、堅調な輸出や株価の上昇など一部に景気持ち直しに向けた動きが見られましたが、個人消費や民間設備投資の回復力は乏しく、総じて停滞色を払拭できないまま推移いたしました。

食品業界におきましては、消費の低迷と低価格化の傾向が依然として継続し、さらに冷夏の影響も加わるという厳しい経営環境でありました。また、食品企業にとりましては、引き続きお客様より食の安全・安心に対する取り組みが強く求められました。

このような状況のもとに、当社は「真の顧客満足の追求」を新たな企業理念と位置付け、お客様の視点に立った事業活動を展開してまいりました。安全・安心な製品をお届けいたしますため、引き続き製品の品質管理・安全対策の強化に努めますとともに、製品の表示における情報の充実にも注力いたしました。また、お客様の多様なニーズにお応えできる生産体制の整備を図り、かつ生産性向上のための諸施策を積極的に推進いたしました。一方、販売面にお

きましては、お客様の視点での売場提案やメニュー提案を行うなど、きめ細やかな営業活動を実施してまいりました。

以上の結果、当中間期の売上高は500億52百万円（前年同期比100.9%）、経常利益は14億49百万円（前年同期比97.3%）、中間純利益は6億20百万円（前年同期比101.0%）となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、前期と同様1株につき5円とさせていただきます。

通期の見通しにつきましては、景気の持ち直しに向けた動きが見られますものの、いまだ輸出にけん引された一部の動きに留まり、円高の進行やイラク問題の行方など懸念材料もあり、個人消費や設備投資といった内需全般へ波及するまでにはなお時間を要するものと思われま

す。食品業界におきましても、雇用環境の改善の遅れや所得の伸び悩みなどから、個人消費の回復力は鈍く、食品企業を取り巻く環境の厳しさは暫く続くものと予想されます。

当社といたしましては、このような情勢のもと、経営環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、6月に執行役員制度を導入いたしました。この新体制を速やかに定着させ、経営全般のスピードアップをさらに図ってまいります。また、「真の顧客満足の追求」の理念のもと、引き続き食品メーカーとして製品の

品質・安全対策に万全を期すとともに、簡便性や健康志向といったお客様の多様なニーズにお応えできる製品開発を行い、きめ細やかな営業活動を進めてまいります。

なお、当社は来年1月より、世界的な中華調味料メーカーである李錦記社ブランドの家庭用中華調味料の販売を開始いたします。これにより、中華調味料ジャンルでのさらなる活性化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

平成15年12月



代表取締役社長

山田 隆

## 目次

株主の皆様へ	1
部門別業績の状況（単体）	3
トピックス	5
業績の推移（単体）	7
業績の推移（連結）	8
財務諸表（単体）	9
財務諸表（連結）	11
会社情報	13

## ●香辛料部門

お客様にスパイスやハーブをさらに身近なものとしていただくため、使いやすい小容量タイプのスパイスとして発売した「スマートスパイス」がご好評をいただくなど順調に推移いたしました。市場が活況を取り戻せず、売上高は前年同期比1億83百万円減の69億7百万円となりました。



## ●即席部門

「とろけるカレー」が引き続きお客様の幅広いご支持を得て好成績を収め、シェアも拡大することができました。また、素材本来のおいしさを提案する「スローライフシチュー」などの新製品の寄与もあり、即席部門の売上高は前年同期比3億23百万円増の151億36百万円となりました。



## ●香辛調味料部門

「本生 生わさび」などのチューブ製品を中心に販売努力を継続し、また自然塩を使用した「味付塩こしょう」を始め、付加価値の高いこだわりの製品を発売するなど、需要喚起に努めましたが、依然として低価格化による影響が続き、香辛調味料部門の売上高は前年同期比4億87百万円減の109億38百万円となりました。



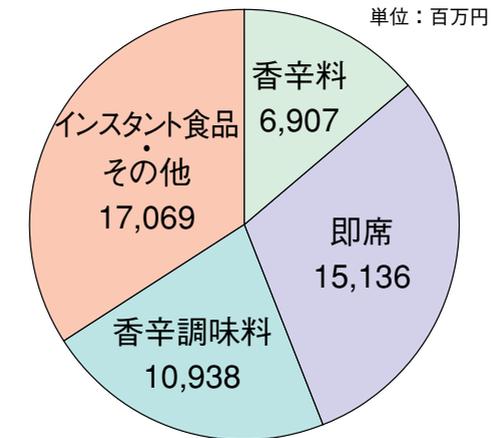
## ●インスタント食品部門

レトルトカレーの「なっとくのカレー」がシェアを伸ばしましたものの、レトルト全体としては厳しい環境が続きました。一方、無菌包装米飯が市場の拡大とともに順調に売上を伸ばし、その中でも具材付きのセット米飯「ピアット」シリーズが、簡便性や個食化といったお客様のニーズを捉え好調に推移いたしました。また、競争激化が続くパスタソース分野でも生風味パスタソースシリーズが着実に売上を確保いたしました。その結果、インスタント食品部門全体としての売上高は、前年同期比7億69百万円増の170億69百万円となりました。

なお、長年に亘りご愛顧をいただきましたスナック菓子製品につきましては、本年9月末をもちまして生産・販売を終了いたしました。



当中間期  
部門別売上構成



ホームページのご紹介 ～「スパイス＆ハーブ総合研究所」と「お届けサイト」～

当社のホームページに4月から登場した、スパイスとハーブの総合サイト「おいしさワクワク、情報いっぱいスパイス＆ハーブ総合研究所」。

このサイトは、創業以来80年に渡り収集・蓄積したスパイスとハーブに関する専門情報や経験をもとに、お客様の目線で新たに編集し、多くの方々にスパイス＆ハーブをより身近に触れていただくことを目的としています。

この7月には、スパイスやハーブに触れる機会をお子様とご家族に持っていただくことを目的とした「こども研究室」もオープンし、小中学生の夏休みの自由研究に役立つコンテンツも用意しました。

そして、この度、当サイトが日本広告主協会主催の「第43回消費者のためになった広告コンクール」のWEB部門において最高賞であるJAA会長賞を受賞することができました。

今後とも、皆様のご期待に添えるよう、コンテンツの充実を図っていきます。



〔URL〕 <http://www.sbsoken.com/>

また、この7月にもお客様起点の新しいサイト「お届けサイト」をオープンしました。

このサイトの目的は、まず、「情報のお届け」。当社の主要商品に関する情報を、料理レシピの情報と連携するなど、様々な切り口から検索できるよう工夫しています。

次は、「商品のお届け」。お客様からお問合せの多い商品について、1個単位で皆様のお手元にお届けすることができるようになりました。

お客様の多様なニーズにお応えするために開設しましたこのサイトも、是非一度ご覧頂き、ご活用ください。

情報満載の当社ホームページアドレス  
<http://www.sbfoods.co.jp/>



〔URL〕 <http://www.sbotodoke.com/>

環境報告書を発行 ～素晴らしい大地の恵みを、次の世代に～

当社では、緑豊かな大地から生まれるスパイスとハーブを次の世代へ引き継いでいきたいとの思いを込めて、環境保全活動や食の安全・安心などの取り組みを行って

きましたが、この度、それらの実績をまとめました「環境報告書 2003」を発行しました。この報告書では、環境マネジメントシステムの構築、環境保全に関する活動状況、社会的取り組みに関する具体的な活動などを紹介しています。

当社の環境に対する取り組みはまだ緒についたばかりですが、今回の発行を機に一歩ずつ、確実に前進させていきたいと考えています。

なお、この報告書は、当社のホームページに掲載しています。



DESIGNER'S DINING & BAR HIDORI ～新・和食空間～

昨年11月、東京・銀座に「〈健康・野菜・季節・元気な臨場感〉に溢れた新しい〈和〉のスタイルの創造」をコンセプトとした“新・和食空間”がオープンしました。



『DESIGNER'S DINING & BAR HIDORI』

レストランスタイルの気軽さと旬の和食が魅力の新しい雰囲気が、ゆとりを求める大人の空間として人気となっています。

メニューは、野菜、季節感、健康感をテーマとして、新鮮素材を活か

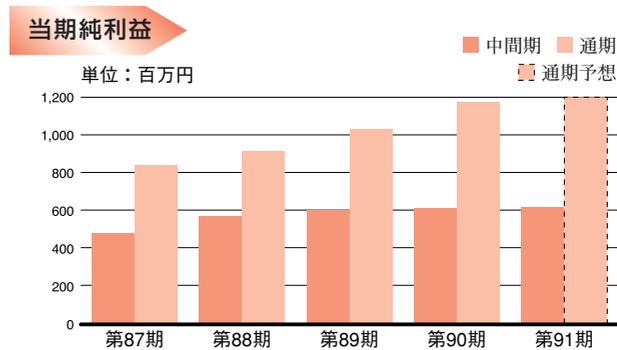
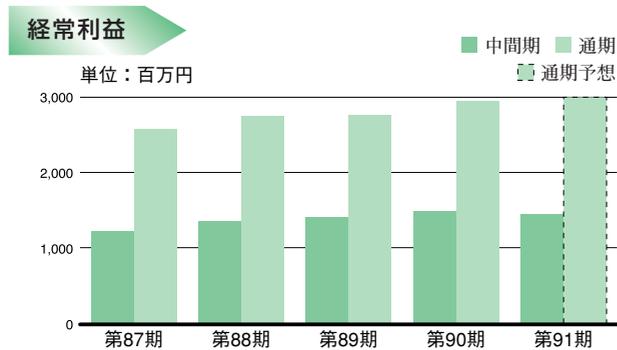
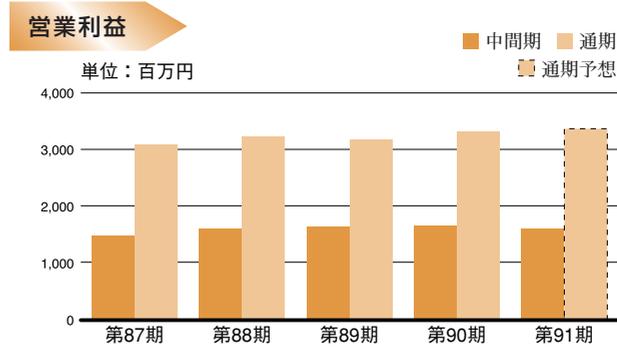
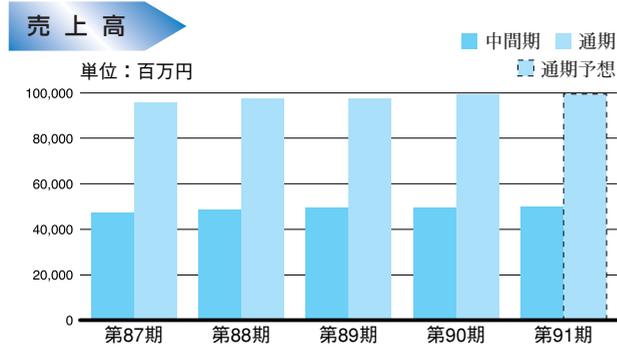
したものを用意しており、そのなかでも、野菜については有機栽培、産地限定、生産者限定など食材にこだわっています。さらに、約2ヶ月毎にメニューを見直すことで、いつも季節感溢れる旬の素材を使ったメニューを提供しています。

また、飲み物については、和食によく合う60種類以上のカリフォルニアワインや、ハーブティーなども取り揃え、常識や形式にとらわれない和食との自由な組合せも提案していきます。



東京都中央区銀座6-2先 コリドー街角  
TEL.03-3571-7301

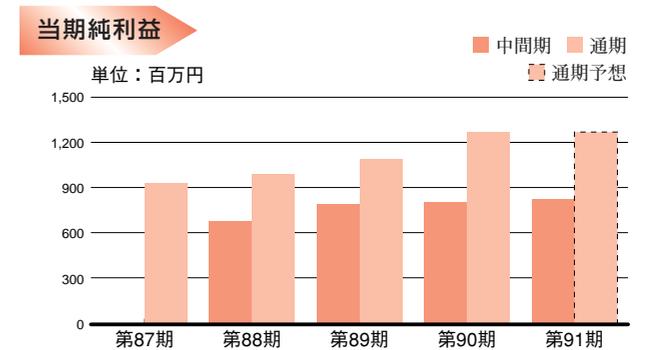
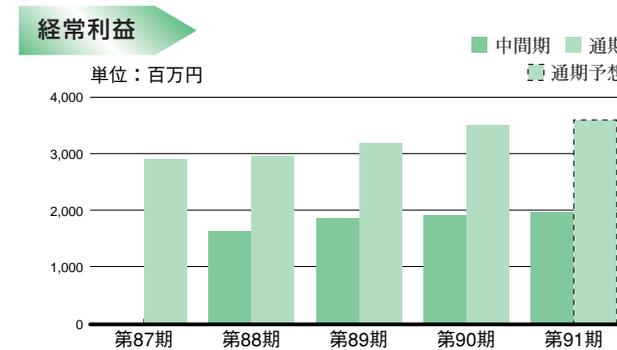
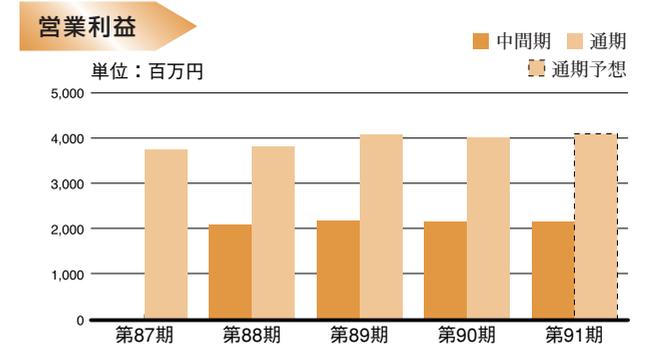
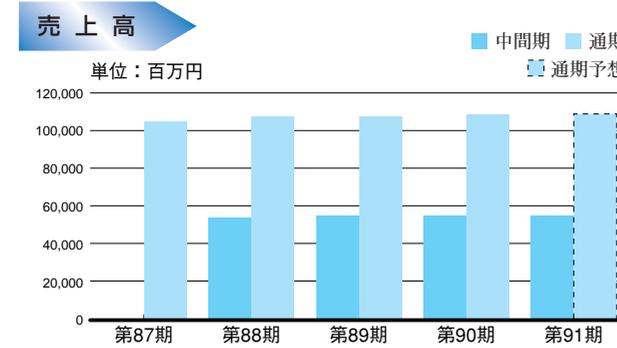
## 業績の推移（単体）



区 分	第87期 (平成11年4月1日から 平成12年3月31日まで)	第88期 (平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで)	第89期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)	第90期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	当中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)
売上高（百万円）	95,672	97,820	97,815	99,389	50,052
営業利益（百万円）	3,100	3,237	3,189	3,318	1,611
経常利益（百万円）	2,580	2,747	2,761	2,954	1,449
当期純利益（百万円）	842	916	1,031	1,173	620
1株当たり当期純利益（円）	24.16	26.28	29.59	31.93	17.80
純資産（百万円）	18,144	18,664	16,856	16,974	18,319
総資産（百万円）	75,560	76,908	74,861	72,995	73,779

(注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。なお、第89期より期中平均発行済株式数は、自己株式数を控除して算出してあります。  
2. 第90期より、1株当たり当期純利益の算定にあたりましては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。

## 業績の推移（連結）



(注) 第87期は中間の連結決算を行っておりません。

区 分	第87期 (平成11年4月1日から 平成12年3月31日まで)	第88期 (平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで)	第89期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)	第90期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	当中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)
売上高（百万円）	104,753	107,406	107,400	108,792	55,469
営業利益（百万円）	3,754	3,833	4,099	4,026	2,164
経常利益（百万円）	2,911	2,955	3,189	3,505	1,975
当期純利益（百万円）	932	995	1,092	1,270	825
1株当たり当期純利益（円）	26.72	28.56	31.33	34.16	23.69
純資産（百万円）	18,631	19,220	17,420	17,630	19,146
総資産（百万円）	94,107	94,251	93,233	89,370	89,947

(注) 第90期より、1株当たり当期純利益の算定にあたりましては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。

## ■貸借対照表

科 目	当中間期末 (平成15年9月30日現在)	前中間期末 (平成14年9月30日現在)
<b>[資産の部]</b>		
流動資産	40,468	42,075
現金及び預金	6,307	7,772
受取手形	6,708	6,466
売掛金	17,455	17,650
有価証券	10	—
たな卸資産	5,790	5,744
前払費用	235	245
繰延税金資産	1,066	845
短期貸付	3,470	3,395
その他の金	572	861
貸倒引当金	△1,149	△908
固定資産	33,274	33,694
有形固定資産	20,546	21,113
建物	6,975	7,182
構築物	712	783
機械及び装置	3,521	3,813
車両及び運搬具	47	24
工具器具及び備品	673	622
土地	8,602	8,602
建設仮勘定	12	84
無形固定資産	379	301
投資その他の資産	12,348	12,279
投資有価証券	5,319	5,212
子会社株	887	1,063
出資	681	704
長期貸付	2,000	2,002
更生債	0	2
長期前払費用	26	11
繰延税金資産	1,136	877
再評価に係る繰延税金資産	1,705	1,746
差入保証金	294	309
敷金の他	181	183
その他の金	302	315
貸倒引当金	△187	△149
繰延資産	35	16
<b>資産合計</b>	<b>73,779</b>	<b>75,786</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科 目	当中間期末 (平成15年9月30日現在)	前中間期末 (平成14年9月30日現在)
<b>[負債の部]</b>		
流動負債	36,113	43,305
支払手形	5,308	9,496
買掛金	8,113	8,300
短期借入金	12,174	14,463
未払金	6,668	6,844
未払費用	290	273
未払法人税等	868	967
賞与引当金	932	946
その他の負債	1,756	2,012
固定負債	19,345	15,014
社債	10,000	6,000
長期借入金	5,320	5,379
退職給付引当金	3,779	3,385
債務保証損失引当金	194	193
その他の負債	51	54
<b>負債合計</b>	<b>55,459</b>	<b>58,319</b>
<b>[資本の部]</b>		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,343	5,343
資本準備金	5,343	5,343
自己株式処分差益	0	—
利益剰余金	13,355	12,585
利益準備金	436	436
退職給与積立金	998	983
厚生施設積立金	700	700
固定資産圧縮積立金	225	232
別途積立金	9,888	9,188
中間未処分利益	1,108	1,046
土地再評価差額金	△2,453	△2,412
株式等評価差額金	348	216
自己株式	△18	△11
<b>資本合計</b>	<b>18,319</b>	<b>17,466</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>73,779</b>	<b>75,786</b>

## ■損益計算書

(単位：百万円)

科 目		当中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)	前中間期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)
経常	営業収益	50,052	49,629
	営業費用	50,052	49,629
	営業利益	48,440	47,963
損益	営業外収益	26,850	26,503
	営業外費用	21,590	21,460
	営業外利益	1,611	1,666
特別	特別利益	126	115
	特別損失	15	15
	特別利益	37	36
の部	特別損失	45	42
	特別利益	26	20
	特別損失	287	291
の部	特別利益	212	229
	特別損失	53	51
	特別利益	21	11
<b>経常利益</b>		<b>1,449</b>	<b>1,489</b>
特別	特別利益	34	7
	特別損失	21	—
	特別利益	—	1
損益	特別損失	12	—
	特別利益	—	5
	特別損失	359	372
の部	特別利益	84	130
	特別損失	—	70
	特別利益	4	23
の部	特別損失	218	144
	特別利益	52	—
	特別損失	—	2
<b>税引前中間純利益</b>		<b>1,123</b>	<b>1,124</b>
法人税、住民税及び事業税		873	974
法人税等調整額		△369	△463
<b>中間純利益</b>		<b>620</b>	<b>614</b>
前期繰越利益		435	431
退職給与積立金取崩額		52	—
<b>中間未処分利益</b>		<b>1,108</b>	<b>1,046</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■貸借対照表 (平成15年9月30日現在)

科 目	当中間期末
<b>[資産の部]</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>46,850</b>
現金及び預金	8,245
受取手形及び売掛金	24,768
有価証券	114
たな卸資産	6,298
短期貸付金	6,870
その他の金	2,412
貸倒引当金	△1,859
<b>固 定 資 産</b>	<b>43,060</b>
有形固定資産	29,940
建物及び構築物	11,627
機械装置及び運搬具	5,803
土地	11,119
その他の他	1,389
無形固定資産	442
連結調整勘定	50
その他の他	391
投資その他の資産	12,677
投資有価証券	5,558
その他の他	7,626
貸倒引当金	△507
繰延資産	35
<b>資 産 合 計</b>	<b>89,947</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	当中間期末
<b>[負債の部]</b>	
<b>流 動 負 債</b>	<b>47,298</b>
支払手形及び買掛金	11,228
短期借入金	24,246
未払引当金	7,032
賞与の他	1,139
その他の他	3,651
<b>固 定 負 債</b>	<b>23,473</b>
社債	10,000
長期借入金	8,935
退職給付引当金	4,358
債務保証損失引当金	124
その他の他	55
<b>負 債 合 計</b>	<b>70,772</b>
<b>少 数 株 主 持 分</b>	<b>28</b>
<b>[資本の部]</b>	
<b>資 本 金</b>	<b>1,744</b>
資本金	5,343
利益剰余金	14,191
土地再評価差額金	△2,453
株式等評価差額金	354
為替換算調整勘定	△15
自己株式	△18
<b>資 本 合 計</b>	<b>19,146</b>
<b>負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計</b>	<b>89,947</b>

(単位：百万円)

## ■損益計算書 (平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

科 目	当中間期
<b>売 上 高 価</b>	<b>55,469</b>
売上原価	30,584
<b>売 上 総 利 益</b>	<b>24,885</b>
<b>販 売 費 及 び 一 般 管 理 費</b>	<b>22,720</b>
販売促進費	13,019
広告宣伝費	2,028
貸倒引当金繰入額	28
賞与引当金繰入額	547
退職給付費用	327
その他の他	6,767
<b>営 業 利 益</b>	<b>2,164</b>
<b>営 業 外 収 益</b>	<b>208</b>
受取利息	37
受取配当金	38
不動産賃貸料	51
その他の他	81
<b>営 業 外 費 用</b>	<b>397</b>
支払利息	384
貸倒引当金繰入額	2
その他の他	10
<b>経 常 利 益</b>	<b>1,975</b>
<b>特 別 利 益</b>	<b>21</b>
固定資産売却益	21
<b>特 別 損 失</b>	<b>457</b>
固定資産除却損	142
出資金評価損	4
貸倒引当金繰入額	176
役員退職金	71
その他の他	63
<b>税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益</b>	<b>1,540</b>
法人税、住民税及び事業税	1,130
法人税等調整額	△418
少数株主利益	2
<b>中 間 純 利 益</b>	<b>825</b>

(単位：百万円)

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■剰余金計算書 (平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

科 目	当中間期
<b>(資本剰余金の部)</b>	
資本剰余金期首残高	5,343
資本剰余金増加高	0
自己株式処分差益	0
資本剰余金中間期末残高	5,343
<b>(利益剰余金の部)</b>	
利益剰余金期首残高	13,620
利益剰余金増加高	825
中間純利益	825
利益剰余金減少高	254
配当金	174
役員賞与	80
利益剰余金中間期末残高	14,191

## ■キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

科 目	当中間期
<b>営 業 活 動 に よ る</b>	
キャッシュ・フロー	△ 3,711
<b>投 資 活 動 に よ る</b>	
キャッシュ・フロー	△ 905
<b>財 務 活 動 に よ る</b>	
キャッシュ・フロー	1,704
現金及び現金同等物	△ 19
に係る換算差額	
現金及び現金同等物の減少額	△ 2,932
現金及び現金同等物の期首残高	11,526
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,594

(単位：百万円)

## ■会社概要

- ・商号 エスビー食品株式会社
- ・本社所在地 東京都中央区日本橋兜町18番6号
- ・本社事務所所在地 東京都板橋区宮本町38番8号
- ・設立年月日 昭和15年4月5日(創業大正12年)
- ・資本金 1,744百万円
- ・従業員数 1,029名(男性835名、女性194名)
- ・主要な事業内容 香辛料グループ(カレー粉、コショウ、ガーリックなど)、即席グループ(ゴールデンカレー、ディナーカレー、とろけるカレー、とろけるシチューなど)、香辛調味料グループ(本生生わさび、ねりからしなど)、インスタント食品グループ・その他(おでんの素、レトルト食品、無菌包装米飯など)の製造販売

## ■株式の状況

- ・会社が発行する株式の総数 88,000,000株
- ・発行済株式の総数 34,885,585株
- ・1単元の株式の数 500株
- ・株主数 2,208名
- ・大株主

株主名	持株数	議決権比率
峯栄興業株式会社	3,045千株	8.77%
山崎兄弟会	3,000	8.64
株式会社東京三菱銀行	1,720	4.95
農林中央金庫	1,720	4.95
株式会社新生銀行	1,390	4.01
株式会社東京都民銀行	1,222	3.52
日本生命保険相互会社	904	2.61
セコム損害保険株式会社	881	2.54
大日本印刷株式会社	661	1.90
第一生命保険相互会社	622	1.79

## ■役員

代表取締役 エスビーグループ代表	山崎 達 光	常任監査役(常勤)	問山 貞 夫
代表取締役社長	山崎 勝 勝	監査役(常勤)	中山 俊 明
取締役副社長	佐藤 幸 雄	監査役	國分 勘 兵衛
取締役副社長 執行役員	海野 祐 造	監査役	松延 洋 平
取専務執行役員	岡安 久 治		
取常務執行役員	荻原 敏 明	執行役員	矢野 邦 宏
取常務執行役員	佐藤 哲 也	執行役員	黒田 恒 夫
取常務執行役員	前澤 孝 一	執行役員	山崎 明 裕

## ■主な事業所

名称	所在地	名称	所在地
本社	東京都	中部第2BU	愛知県
エスビースパイスセンター (本社事務所)	東京都	中部第3BU	石川県
北海道BU	北海道	関西第1BU	大阪府
東北第1BU	岩手県	関西第2BU	大阪府
東北第2BU	宮城県	関西第3BU	大阪府
関東第1BU	埼玉県	中四国第1BU	香川県
関東第2BU	千葉県	中四国第2BU	広島県
関東第3BU	東京都	九州第1BU	福岡県
関東第4BU	東京都	九州第2BU	福岡県
関東第5BU	神奈川県	九州第3BU	鹿児島県
新潟BU	新潟県	沖縄BU	沖縄県
長野BU	長野県	上田工場	長野県
静岡BU	静岡県	東松山工場	埼玉県
中部第1BU	愛知県	宮城工場	宮城県

(注)上記表中「BU」はビジネスユニットを省略記載したものです。

## スパイスとハーブはS&B

### 株主メモ

決算期日	3月31日（年1回）
配当金受領株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	6月中
名義書換代理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	日本証券代行株式会社 本店 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
（郵便物送付先）	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
（お問合せ先）	日本証券代行株式会社 代理人部
	（住所変更等用紙のご請求） フリーダイヤル 0120-707-842
	（その他のご照会） フリーダイヤル 0120-707-843
	（ホームページアドレス） <a href="http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html">http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html</a>
同取次所	日本証券代行株式会社 各支店
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主優待制度	有
貸借対照表・損益計算書掲載アドレス	<a href="http://www.sbfoods.co.jp/">http://www.sbfoods.co.jp/</a>
（ホームページアドレス）	

### 【単元未満株式の買増制度のご案内】

当社では、株主様の便宜をお図りするために、1単元（500株）に満たない株式の数をご所有の株主様は、お手許の単元未満株式と併せて1単元になる数の株式を買増請求できる制度を導入しております。お手続きなどの詳細につきましては上記の名義書換代理人あてにご照会ください。なお、証券保管振替制度をご利用の場合は、お取引証券会社あてにご照会ください。